



前号でお伝えできなかった11月の学習支援と「中洲クラブ」の活動の様子をお知らせします。

11月5, 6, 7日 「木遣り学習」(4年 音楽科)



諏訪市木遣り保存会の皆さんに教えていただく御柱の木遣り唄は、4年生が学習する「郷土の歌」単元の教材として、毎年4年生音楽の授業で取り組んでいます。

11月22日(土) 餅つき大会(「中洲クラブだよりNO.9」より転載)



今回は収穫したもち米を使った「餅つき大会」を行いました。今回の餅つきは、田植えから稲刈りまで子どもたちが関わってきたもち米を使い、食べ物ができるまでの過程を体験する貴重な機会となりました。・・・つき上がった餅は、きなこやあんこをまぶしていただきました。子どもたちは「おいしい!」「やわらかい!」「自分たちで作ると特別な味がするね」と笑顔いっぱい頬張り、友達同士で「もっと食べたい!」と話しながら嬉しそうに食べていました。自分たちの手で育てたもち米からできたお餅は、格別のおいしさだったようです。

11月27日(水) 「藍染体験学習」(3年 ものづくり科)

3学年では、ものづくり科の授業に「藍染」を取り入れ、岡谷の絹工房から講師を招いて実施しました。講師の八幡廣子先生は、その昔、教員として中洲小学校に勤務されたことがあるそうです。一日かけて学年全クラスで指導していただき、個性的な模様の藍染作品を作り上げることができました。

